

### I はじめに

八幡浜市には、小学校16校、中学校8校の計24校の学校がある。児童・生徒数の減少により市内小中学校の統廃合が進み、昨年は大島小学校が休校となった。現在の八幡浜市のへき地指定校は、準級の長谷小学校（児童数6名）と3級の大島中学校（生徒数2名）の2校である。

そのため、へき地部員数も減少し7名となった。さらに山間部と島部に離れているため交流が図りにくく、活動は主にFAX、TEL、メールを中心に、校内研修をはじめ、ブロック研修、市教研のへき地・複式教育部会などを通して連携を図りながら、取り組んでいる。

### II 研究主題

「ふるさとを愛し、たくましい実践力をもち、主体的・創造的に生きる人間性豊かな子どもの育成」

へき地・小規模校・複式学級を有する学校の特性を生かした創意ある学校づくりと学習指導の進化・充実

### III 活動の概要

#### 1 第1回へき地部員会検討会（4月15日）

- (1) 活動方針・事業計画
- (2) 情報交換

#### 2 第2回へき地部員会（7月25日：FAX）

- (1) 県へき地部長会報告
- (2) 情報交換

#### 3 市教研へき地・複式教育部会（11月11日）

- (1) 会場：長谷小学校
- (2) 授業公開及び研究協議 2年生 道徳
- (3) 複式学級（少人数学級を含む）の実践資料などによる情報交換

#### 4 中国・四国地区へき地教育研究大会愛媛大会への参加・研修 （10月23・24日）

#### 5 第3回へき地部員会（2月予定）

- (1) 県へき地部長会報告
- (2) 1年間の反省及び来年度の計画
- (3) 情報交換

### IV おわりに

八幡浜市は、人口の減少とともに児童生徒数も激減傾向にある。そのため、へき地指定校は2校であるが、複式学級のある学校は増えているのが現状である。

そこで本年度は、特に研究のねらいである「小規模校・複式学級の特色を生かした学習指導の改善・充実を図る」に重点を置いて研究を進めてきた。2校のみの取り組みでは研究に深まりがみられにくいので、八幡浜市教育研究集会のへき地・複式教育部会を通して、市内各小規模校の複式学級の実践なども持ち寄り、研究を深めている。

このように支部内での研修には限界があるため、自校の校内研修はもちろんのこと、他の研究会やへき地教育研究大会などに積極的に参加し、さらに研究を深めていかなければならない。また、主題にせまる実践研究になるよう、へき地・小規模校の特性を生かした工夫と実践及び2校の連携を密にして、来年度へつなげていきたいと考えている。